

地域とつくる 生き生き学校

福井市大安寺中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	17回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	19人
授業ボランティア（含：低ボラ）	2人
登下校支援ボランティア	0人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「 キャリア教育 」

テーマ

発達段階に応じた望ましい職業観、勤労観等を育てる取組

(1) キャリア教育講演会および体験活動

- ① 講師 廣部耕一氏（株式会社廣部硬器代表取締役社長）
- ② 日時 平成23年11月1日（火） 10:40～12:30（3・4限目）
- ③ 場所 第2理科室
- ④ 目的

- (1) 専門的・技術的な職業に携わる人の話を直接聞き、働く人々の様々な生き方や職業に対する誇りや思いを知り、勤労の意義について考える。
- (2) 講師の職業生活に関する話を通して、ソーシャルスキルを身につける機会にする。
- (3) 地域産業について興味関心をもたせ、郷土への誇りや愛着を育てる。



- ⑤ 対象 中学校1・2年・3年（計31名）

販売シェア「日本一」を誇る当会社を経営している廣部社長より、日本一たる製品の特徴や受注先についての説明、現在開発している製品についての話を頂いた。聴く側の生徒の表情は真剣で、廣部社長のプロ意識や人生のターニングポイントでの考え方に、自分の進路や生き方を考えたという生徒も少なくなかった。

実際に硬器用の粘土を使った家紋づくりを体験しながら、手伝って下さった従業員の方々の職人としての「いい仕事へのこだわり」や技量の確かさに生徒から驚きの声があがる場面もあった。生徒の感想には、自分も将来、誇れるような仕事をしたいといった感想や、廣部さんへの感謝の言葉が綴られていた。

(2) 職場体験学習

- ① 目的
 - ・自己の理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付ける。
 - ・自己の生き方について主体的に考え行動できる態度と能力を養う。

・様々な体験活動を通して、社会生活に必要なとされるルールやマナー、コミュニケーション能力を養う。

② 期 日 平成23年11月16日(水)～18日(金)の3日間
8:00～16:00(体験先によって時間の前後あり)

③ 体験先

事業所名	住 所	電話番号等	仕 事 内 容
福井リハビリテーション病院	910-0046 福井市南檜原町20字大畑2	TEL59-1126	看護体験 食事の介助 など
えちぜん鉄道	910-0003 福井市松本上15-3-1	TEL52-7788	駅一般業務 技術業務 など
光の子幼稚園	910-0029 福井市日光2-10-10	TEL21-2041	園児の保育 など
たつの(和菓子)	910-0854 福井市御幸1-16-31	TEL22-4693 FAX22-4695	商品の箱詰め 皿洗い など



<職場体験/えちぜん鉄道>



<職場体験/和菓子店>

体験するにあたり、相手先への連絡や体験させていただく内容の交渉、相手先の事業の概要の事前調査など、生徒が自主的な学習を進めながらその準備をしてきた。たった3日間の体験学習であったが、生徒たちにとって「働く」ということは、自分たちが想像していた以上に厳しく、体力的にも精神的にもエネルギーが必要なのだということを実感したようだ。しかし、職場の方やお客様からかけられた「ありがとう」「うまくなったね。」の言葉に、疲れが吹き飛ぶ喜びを感じることができたり、達成感を味わったりすることもでき、働く喜びの一端を味わった生徒も多かった。

成果と課題

本校のキャリア教育は、幼・小・中連携の中で系統的に学びが発展していくように計画してきた。生徒数が少ないので、キャリア教育講演会と体験活動についても職場見学場所についても、例年なるべく生徒の興味関心に合わせて内容や場所を決めるようにしているが、中学校の3年間で体験できる職種は限られる。なるべく幅広い分野の体験ができるよう配慮しているが、新しい人材や体験場所を開拓するのは、多忙な担任にとって容易なことではない。管理職も含め全職員で開拓をしながら、データベースを拡充して、小学校での体験と重複することなく、発達段階に応じた体験学習や調べ活動を展開できるよう配慮していきたい。また、発表会の機会を通じて、生徒は自分たちの経験を互いに共有することで知識や経験知を広げているので、この発表会が年々充実して高まっていくよう指導を工夫していきたい。

中教審の答申を受けて、現在「4領域8能力」で計画してきたこれまでの系統図を「基礎的・汎用的能力」の視点で作り直している。幼・小・中の12年間で体験したり調べたりする学習内容がより系統的で幅広く意義あるものになるように工夫や改善に努めたい。

